



タイトル「**2011年度シラバス(学部)**」、フォルダ「**2011年度シラバス(学部)-専門科目-情報科学部-専門展開群-3~4年次配当科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



科目名	* 情報科学演習 I		
担当教員	澤田 直		
対象学年	3年	クラス	[402]
講義室		開講学期	前期
曜日・時限	月5	単位区分	必
授業形態		単位数	1
準備事項			
備考			
A講義概要/Class Outline	情報科学部の各教員がそれぞれ提示するテーマについて調査、分析、討論、実装等を行わせることによって、情報科学の各分野の最新発展とそれまでの学習との関連を学生に理解させることを目的とする。情報科学部各教員に学生を分属させて、各教員が分担して学生を指導する。		
B講義計画(テーマ及び学習内容)	クラスを担当する教員の指導でクラス毎に独自のテーマで演習を実施する。それぞれのテーマの具体的内容は学部のウェブページに掲載する。演習の結果はウェブ形式のレポートとして公開する。		
	回	内容	
	1	全体ガイダンス、各研究室の紹介	
	2	各研究室の研究テーマの調査、研究室の訪問	
	3	研究室分け、研究室毎のガイダンス、履修計画の指導	
	4	就職ガイダンス	
	5	外部講師によるコミュニケーション演習	
	6	研究室毎のテーマで演習 テーマ:FPGAボードを用いた設計演習、設計ツールの導入	
	7	研究室毎のテーマで演習 テーマ:FPGAボードを用いた設計演習、セレクトの設計	
	8	研究室毎のテーマで演習 テーマ:FPGAボードを用いた設計演習、演算回路の設計	
	9	研究室毎のテーマで演習 テーマ:FPGAボードを用いた設計演習、カウンタの設計	
	10	研究室毎のテーマで演習 テーマ:FPGAボードを用いた設計演習、レジスタの設計	
	11	研究室毎のテーマで演習 テーマ:FPGAボードを用いた設計演習、自動販売機制御回路の設計	
	12	研究室毎のテーマで演習 テーマ:FPGAボードを用いた設計演習、電子錠制御回路の設計	
	13	研究室毎のテーマで演習 テーマ:FPGAボードを用いた設計演習、まとめ	
	14	ウェブ形式のレポートの作成	
15	ウェブ形式のレポートの公開		
C到達目標/Class Goal	(1)与えられたテーマについて、教員の指導などに従って、調査、分析、討論、実装、評価などを行うことができる。 (2)結果を適切にまとめて公開することができる。 (3)仕事を計画的に進め、期限内に目標を達成することができる。 (4)自主的に学習を進めることができる。 (5)チームワーク力、リーダーシップ力がある。		
D準備学習の内容(事前・事後学習)	講義時に指示する。与えられたテーマについて、自主的に学習を進めること。		
E評価基準GradingCriteria	・秀:(1)~(5)を満たす。/優:(1)~(4)を満たす。・良:(1)~(3)を満たす。/可:(1)と(2)を満たす。		
F評価方法/Grading Method	(1)と(3)は学習態度とウェブレポートで評価する。(2)はウェブレポートで評価する。(4)と(5)は学習態度で評価する。		
G受講上の注意/Class Rules	情報科学演習 I、IIの説明及び研究室分けは3年次前期に行う。原則として情報科学演習 I の研究室が、情報科学演習 II および4年次の卒業研究の研究室となる。 ウェブ形式のレポート提出がないと単位の取得はできない。 必要な場合には学外授業を行うこともある。 講義計画は、学生の適性や進捗状況により変更することがある。		
H受講制限/Prerequisite	前年度終了時の修得単位数が52単位未満の場合には、履修を推奨しない。		
I関連する科目RelatedClass	情報科学演習 II、卒業研究		

J教科書/Text	著者名	
	著書名	なし
	出版社名	
	ISBNコード	
K指定図書/Assigned Books	著者名	
	著書名	なし
	出版社名	
	ISBNコード	
L参考文献/Bibliography	著者名	
	著書名	適宜指示する。
	出版社名	
	ISBNコード	



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.